

平成 30 年第 1 回玉城町議会定例会会議録（第 3 号）

1. 招集年月日 平成 30 年 3 月 6 日（木）
2. 招集の場所 玉城町議会本会議場
3. 開 議 平成 30 年 3 月 9 日（金）（午前 9 時 00 分）
4. 出席議員 （10 名）

1 番 前川さおり	2 番 井上 容子	3 番 <u> </u> 欠番
4 番 竹内 正毅	5 番 中西 友子	6 番 北 守
7 番 坪井 信義	8 番 <u> </u> 欠番	9 番 <u> </u> 欠番
10 番 奥川 直人	11 番 山口 和宏	12 番 風口 尚
13 番 小林 豊		
5. 欠席議員 なし
6. 地方自治法第 121 条の規定により説明のため出席した者の職・氏名

町 長 辻村 修一	副町長 小林 一雄	教育長 田間 宏紀
会計管理者 藤川 健	総務課長 中村 元紀	税務住民課長 北岡 明
生活福祉課長 西野 公啓	産業振興課長 中世古憲司	建設課長 東 博明
教育事務局長 中西 元	上下水道課長 中西 豊	病院老健事務局長 田村 優
監査委員 中村 功	総合戦略課主幹 中川 泰成	
7. 職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局長 田畑 良和	同書記 宮本 尚美	同書記 上村 文彦
--------------	-----------	-----------
8. 日 程 【質 疑】
 - 第 1 会議録署名委員の指名
 - 第 2 議案第 1 号 玉城町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について
 - 第 3 議案第 2 号 玉城町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
 - 第 4 議案第 3 号 玉城町介護給付費準備基金の設置及び管理に関する条例の一部改正について
 - 第 5 議案第 4 号 玉城町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
 - 第 6 議案第 5 号 玉城町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正について
 - 第 7 議案第 6 号 玉城町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
 - 第 8 議案第 7 号 玉城町国民健康保険条例の一部改正について
 - 第 9 議案第 8 号 玉城町介護保険条例の一部改正について
 - 第 10 議案第 9 号 玉城町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護

- 予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する
基準等を定める条例の一部改正について
- 第11 議案第10号 玉城町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に
関する基準を定める条例の一部改正について
- 第12 議案第11号 玉城町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び
運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のた
めの効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正に
ついて
- 第13 議案第12号 玉城町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定め
る条例の一部改正について
- 第14 議案第13号 玉城町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
- 第15 議案第14号 平成29年度玉城町一般会計補正予算（第5号）
- 第16 議案第15号 平成29年度玉城町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- 第17 議案第16号 平成29年度玉城町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第
2号）
- 第18 議案第17号 平成29年度玉城町山村振興事業特別会計補正予算（第3号）
- 第19 議案第18号 平成29年度玉城町農業集落排水事業特別会計補正予算
（第2号）
- 第20 議案第19号 平成29年度玉城町介護保険特別会計補正予算（第4号）
- 第21 議案第20号 平成29年度玉城町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 第22 議案第21号 平成29年度玉城町病院事業会計補正予算（第2号）
- 第23 議案第22号 平成29年度玉城町水道事業会計補正予算（第1号）
- 第24 議案第23号 平成29年度玉城町介護老人保健施設事業会計補正予算（第1号）
- 第25 議案第24号 平成29年度玉城町下水道事業会計補正予算（第2号）
- 第26 議案第25号 平成30年度玉城町一般会計予算
- 第27 議案第26号 平成30年度玉城町国民健康保険特別会計予算
- 第28 議案第27号 平成30年度玉城町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
- 第29 議案第28号 平成30年度玉城町山村振興事業特別会計予算
- 第30 議案第29号 平成30年度玉城町農業集落排水事業特別会計予算
- 第31 議案第30号 平成30年度玉城町介護保険特別会計予算
- 第32 議案第31号 平成30年度玉城町後期高齢者医療特別会計予算
- 第33 議案第32号 平成30年度玉城町病院事業会計予算
- 第34 議案第33号 平成30年度玉城町水道事業会計予算
- 第35 議案第34号 平成30年度玉城町介護老人保健施設事業会計予算
- 第36 議案第35号 平成30年度玉城町下水道事業会計予算

◎開会の宣告

(9時00分開議)

○議長(山口 和宏) ただ今の出席議員数は10名で定足数に達しております。

よって、平成30年第1回玉城町議会定例会第3日目の会議を開きます。

ここで産業振興課長中世古憲司君から発言を求められておりますので、これを許します。

産業振興課長 中世古憲司。

○産業振興課長(中世古 憲司) 去る3月6日の今回定例会におきまして、議案第17号 平成29年度玉城町山村振興事業特別会計補正予算(第3号)の補足説明において、誤りがあったとのご指摘がございました。

予算書のまず7ページをお開きいただきたいと思います。

予算書7ページ中、5款・繰入金、1項・他会計繰入金、一般会計繰入金におきまして、説明の中で464万4,000円の減額と申し上げいたしましたが、予算書記載のとおり464万3,000円でございますので、お詫びしてここで訂正をさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○議長(山口 和宏) 本日の議事日程はお手元に配布のとおりでございます。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○議長(山口 和宏) 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、議長において

5番 中西 友子君 6番 北 守君

の2名を指名します。

◎日程第2 議案第1号の質疑

○議長(山口 和宏) はじめに、日程第2 議案第1号 玉城町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定についてを議題にします。

これから、質疑を行います。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(山口 和宏) 質疑なしと認めます。

これで、質疑を終わります。

◎日程第3 議案第2号の質疑

○議長(山口 和宏) 次に、日程第3 議案第2号 玉城町職員の育児休業等に関する条例の一部改正についてを議題にします。

これから、質疑を行います。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(山口 和宏) 質疑なしと認めます。

これで、質疑を終わります。

◎日程第4 議案第3号の質疑

○議長(山口 和宏) 次に、日程第4 議案第3号 玉城町介護給付費準備基金の設置及び管理に関する条例の一部改正についてを議題にします。

これから、質疑を行います。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(山口 和宏) 質疑なしと認めます。

これで、質疑を終わります。

◎日程第5 議案第4号の質疑

○議長(山口 和宏) 次に、日程第5 議案第4号 玉城町後期高齢者医療に関する条例の一部改正についてを議題にします。

これから、質疑を行います。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(山口 和宏) 質疑なしと認めます。

これで、質疑を終わります。

◎日程第6 議案第5号の質疑

○議長(山口 和宏) 次に、日程第6 議案第5号 玉城町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部改正についてを議題にします。

これから、質疑を行います。

発言を許します。

坪井信義君。

○7番(坪井 信義) 条例の中で、別表中50人を80人に改められておりますけども、かなりの人数の増員ということで、それだけ希望者があって、その要因に応えようとする、その内容については、異論をはさむものではございませんが、ただ施設的に増改築を行わない状況の中で、いきなり30人ということに対して、施設利用の観点から問題がないかどうかお伺いします。

○議長(山口 和宏) 生活福祉課長 西野公啓君。

○生活福祉課長（西野 公啓） お尋ねをいただいております田丸小学校校内にあります、さくら児童館を活用しまして、放課後児童クラブを運営させていただいておりますけども、現在、日平均いたしますと、今、約60人希望で、ご利用をいただいております。

中には4月当初、利用者の討論をいただいておりますけども、100人を超える子どもさん方が登録をいただいていると。今期、平成30年度からは、あの建物は2階の構造になっておりまして、1階と2階に分けまして、運用をさせていただこうかと。

それに伴いまして、指導員のほうも増強いたします。その関係で、平成30年度から定員を倍の80人という形で運用させていただくと、そういうような形でお願いをしたいと思っております。以上です。

○議長（山口 和宏） 7番 坪井信義君。

○7番（坪井 信義） 確かに現状は、確かに私も自宅のすぐ近くですので、様子も十分わかっております。また、私の孫も3年生ですけど、従来から登録はしておりませんが、いったん学校から帰りまして、近いもんですから、その児童クラブの友だちと一緒に遊びにいくと。どこの児童館もそうですけど、特に田丸の場合は校庭内にある関係で、結構男の子は天気の良い日は外で遊んでいるケースが非常に多いですね。

だから、その中で確か今、課長が言われましたけども、実際、中で遊ぶ子と外で遊ぶ子という状況ですので、極端にスペースがどうかという心配はしてないんですけど、いきなり50人から80人ということで、人数が増えたので、いささか危惧をした点がありましたので、お伺いをいたしました。答弁は要りません。

○議長（山口 和宏） 他にございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（山口 和宏） 質疑なしと認めます。

これで、質疑を終わります。

◎日程第7 議案第6号の質疑

○議長（山口 和宏） 次に、日程第7 議案第6号 玉城町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正についてを議題にします。

これから、質疑を行います。

発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（山口 和宏） 質疑なしと認めます。

これで、質疑を終わります。

◎日程第8 議案第7号の質疑

○議長（山口 和宏） 次に、日程第8 議案第7号 玉城町国民健康保険条例の一部改正についてを議題にします。

これから、質疑を行います。

発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（山口 和宏） 質疑なしと認めます。

これで、質疑を終わります。

◎日程第9 議案第8号から日程第13 議案第12号の質疑

○議長（山口 和宏） 次に、日程第9 議案第8号 玉城町介護保険条例の一部改正について、ないし日程第13 議案第12号 玉城町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正についてを一括議題にします。

これから、質疑を行います。

発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（山口 和宏） 質疑なしと認めます。

これで、質疑を終わります。

◎日程第14 議案第13号の質疑

○議長（山口 和宏） 次に、日程第14 議案第13号 玉城町消防団員等公務災害補償条例の一部改正についてを議題にします。

これから、質疑を行います。

発言を許します。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（山口 和宏） 質疑なしと認めます。

これで、質疑を終わります。

◎日程第15 議案第14号の質疑

○議長（山口 和宏） 次に、日程第15 議案第14号 平成29年度玉城町一般会計補正予算（第5号） ないし日程第25 議案第24号 平成29年度玉城町下水道事業会計補正予算（第2号）を一括議題にします。

これから質疑を行います。後刻、予算決算常任委員会において、詳細な審査をいただくこととしておりますので、ここでの質疑は町長の提案理由の範囲を対象に行いたいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(山口 和宏) 質疑なしと認めます。

したがって、質疑は一括上程されました議案第14号ないし、議案第24号についての町長の提案理由の説明の範囲を対象に行います。

発言を許します。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(山口 和宏) 質疑なしと認めます。

以上で一括上程されました、議案第14号ないし議案第24号についての質疑を終わります。

◎日程第26 議案第25号から日程第36 議案第35号の質疑

○議長(山口 和宏) 次に、日程第26 議案第25号 平成30年度 玉城町一般会計予算ないし、日程第36 議案第35号 平成30年度玉城町下水道事業会計予算を一括議題として、これから質疑をおこないますが、各議案の質疑についても、後刻、予算決算常任委員会において、詳細な審査をいただくこととしておりますので、ここでの質疑も、町長の提案理由の範囲を対象に行いたいと思います。

○議長(山口 和宏) これに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(山口 和宏) 異議なしと認めます。

したがって、質疑は一括議題としました議案第25号ないし議案第35号について、町長の提案理由の説明の範囲を対象に行います。

発言を許します。

6番 北守君。

○6番(北 守) 議案第25号ですが、当初予算について、予算書では62ページの4款・衛生費、1項・保健衛生費、1目・保健衛生総務費の19節の中に、伊勢広域環境組合負担金1億7,533万3,000円ということで計上されております。

町長の提案でいきますと、ページ6ページの下から7行目にあたるわけですが、この説明の中では、伊勢広域環境組合の施設建替えに伴う負担金の増額についてということで、ご提案があったわけですが、まず1点目にお聞きしたいのが、伊勢広域環境組合、これは4市町で構成されておるのですが、この負担金が施設建替分を含んで、今回、負担金の計上がされておるということで、建替えの計画はどのようになっておるのかどうか、その点をお伺いしたいと思います。

○議長(山口 和宏) 生活福祉課長 西野公啓君。

○生活福祉課長(西野 公啓) お尋ねをいただいております伊勢広域環境組合の負担金の関係でございます。また合わせて整備事業の計画についてでございますけれども、今回

1億7,533万3,000円計上させていただいております。例年に比べますと5,000万円以上の増となってきております。この整備計画になりますと、平成35年から3カ年かけてまして、現在の建物の老朽化に伴いまして、建替えをするという計画がございます。その構想に基づきまして、現在、ごみ処理施設整備基本構想というのを立てております。

今年度と来年度、31年度で基本計画を立てまして、その基本構想に基づいて、環境評価というアセスを実施させていただきます。これに伴いまして、35年から候補地選定の後、そこに建替えをさせていただくということになるんですが、それまでの間、この1月31日に組合議会におきまして、基金条例も設けていただいた上で、今年度、平成30年度から建設が始まりますまで、このような基金を積んだ上で、建設が始まった後に償還が始まるという形で、最終的にその償還が終わりますが、平成57年、2045年を目途に整備計画が終了すると、そのような構想の下で実施をされるものでございます。以上です。

○議長（山口 和宏） 6番 北守君。

○6番（北 守） 35年から3カ年をかけて、建替えをということで、今、環境アセスメントが来年度、次年度から始まるということですが、今の答弁を聞かせていただきますと、同じ場所に建替えるというものなのか、それともまた別な場所を選んで建て替えるというお考えなのか、そこら辺がよくわからなかったんですが、いずれにしるどういうもの、同程度のものをつくっていくのかどうかということも、よくわかってない。

それから、また住民への環境アセスメントを取っていただくということは、住民影響のことも含めるんですけども、そういう影響はあるのかないのか、そういう点をお伺いしたいと思います。

○議長（山口 和宏） 生活福祉課長 西野公啓君。

○生活福祉課長（西野 公啓） お尋ねをいただいております、まずは整備計画におきます処理能力のことなんですけども、現在、日200トンの規模で処理できる清掃工場となっております。これを基にですね、今後も日200トンを目途に計画がなされていると。このごみ処理施設整備に関する基本構想の策定委員会がございまして、有識者を含めまして、現在その委員の中で候補地選定もなされているところです。

現在どのポイントにということとは決定いたしておりませんが、早いうちに、おそらく平成30年度中には候補地も選定をしながら、先ほどおっしゃいました環境影響への評価、いわゆるアセスというのをさせていただきながらですね、順次、候補地を選定し、整備計画へともっていくと、そういうふうな流れと現在なっております。以上です。

○議長（山口 和宏） 6番 北守君。

○6番（北 守） 今のご答弁ですと、候補地ということですので、建替えされる場所が西豊浜から変わるという、そういう可能性があるのやないかというご答弁だったと思うので、それでよろしいですか、そういうふうに理解してよろしいですか。

○議長（山口 和宏） 生活福祉課長 西野公啓君。

○生活福祉課長（西野 公啓） 今おっしゃいました現在の場所が変わるということも含めてですね、現在のところ候補地の選定をしておりますので、まだ決定しているわけではございませんので、以上です。

○議長（山口 和宏） ほかにございませんか。

10番 奥川直人君。

○10番（奥川 直人） 議案第25号の平成30年度一般会計当初予算について質疑をさせていただきます。

まず全体のところでですね、これは5ページにあたりますけども、地方譲与税から地方交付税について、国の動向、また地方財政計画を踏まえて、それぞれ増減を見込んだとなっておりますので、これについては国の動向、そして、玉城町としてどのような考えを持って、この当初予算を設定されたのかというのを、1点聞きたいと思います。

また、次のページの総務費になりますが、地方創生推進費で地域運営組織の収益力を強化すると、30年度事業としてあげられているわけではありますが、具体的な構想なり考えというのは当然できておると思うので、それについて少しお聞きをしたいと思います。

続きまして、農林水産費でありますけども、溜池耐震の事業が進んだことにより農村地域防災・減災事業を減らしたとなっております。確かにそういった防災に対する溜池については修復なり、いろいろされてきておると思うのですけども、その効果というのをどのように判断をされているのかということでもあります。

要はそういった対策の効果というものがどうであったのかということをもって、減にするということだと思っておりますので、そこを聞きたいと。

それともう1点は、昨日も申し上げましたけど、そういったことが、地域の皆さんに、こういうことをしたから、こういう補強もしたという形で、周知をどうされるのか。要はやった成果を協働の考えで共有するということでもあります。

もう1点はこれは同じく昨日質問させていただきましたけれども、平成24年から25年にかけて耐震の調査をしたと。これが2,200万円ぐらいあって、その内容については、まだ公開されていないということを含めて、この関連、今回やっている事業と、そして前回、平成24年、25年とやった事業の関連をお聞きしたいと思っております。

続きまして、土木費になります。7ページになりますけども、地籍調査の事業費については、今回増額するというので、これは平成21年から、平成21年当初は玉城町は三重県でも最低でワースト1だったということから、こういった事業も含めて取り組まれてきておるわけではありますが、現状の状況と、そして今後どの辺までの拡大を見込んでいるのかという将来的な考えを含めてお聞きしたい。

最後に防災費であります。防災費につきましては、防災計画の見直し費用、これがたぶん400数十万あったと思うのですが、見直しの予算は入れたけれども、全体的に減と、少なくしているということでもあります。昨年、甚大な被害が玉城町に起こった中で、こ

の防災費について少なくなるということは、いかがなものかと。ハード面。

○議長（山口 和宏） 奥川議員、これ一気に全部質問されるんですか。

○10番（奥川 直人） 3回しかできないので、わかっている議長。

ということで防災対策におけるハード面の対策は、計画に入れておられるのかどうか。被災された皆さんは防災計画では、安全性が保てないということですので、そういった意味では防災で地域の皆さんに安心してもらうためのハード的な事業計画はないのか。以上、お聞きします。

○議長（山口 和宏） 総務課長 中村元紀君。

○総務課長（中村 元紀） 私の所管いたします2点について、ご回答させていただきたいと思います。

まず1点目の収入でございます。地方譲与税から交付税につきましては、国の状況、地方財政状況、財政計画等に基づいてということで、お話をさせていただいてございます。これにつきましては、国のほうから例えばの話でございますが、地方譲与税につきましては、揮発油税等その動向によりまして、どれぐらいの伸びになるという数字が示されます。それを基に推計をさせていただいておるというものでございます。

当然交付税につきましても、交付税基礎額というのが、国のほうで決まってまいりまして、それを配分するという格好になりますので、それぞれ詳細の数字は今、持ち合わせておりませんので、必要でしたらまた委員会等でお示しさせていただきたいと思いますが、それぞれ示されておるものに基づきまして、収入を推計させていただいたものであるということでございます。

それから、歳出のほうにいきまして、防災対策の関係でご質問がございました。防災計画のほうの見直しをしておるんですけど、全体としては減になっておるというところでございます。これにつきましては、昨年度、公衆無線ランの整備事業関係の費用がたくさんもってございました。これが概ね2,900万円ほどもらしていただいていたという部分で、今回の減額の主な部分でそれになってきておるものでございます。

その他あと今回、防災計画の見直しをしておりますけども、防災計画の単年で終わるものではないということで、ご理解いただきたいと思います。以上でございます。

○議長（山口 和宏） 総合戦略課主幹 中川泰成君。

○総合戦略課主幹（中川 泰成） ご質問いただきました私ども所管いたします地方創生費に関するところについてのご答弁を申し上げます。

ご質問いただきました件ですが、どのような事業内容で実施をするのかというお尋ねかと思えます。こちらの事業に関しましては、玄甲舎にかかる部分の事業ということでございまして、この玄甲舎の事業につきまして、地域再生計画という国の認定をいただきまして、平成29年度から3カ年で実施をしておるというところでございます。

ご承知のとおり今年度につきましては、皇學館大学さんとの連携をいたしまして、ワ

ークショップを10回、重ねてまいりまして、先般3月3日に今年度の終了ということで開催をしたところでございまして、全体で延べ約350人程の方がご参加をいただいたということでございます。

またそういった住民の方々のご意見を基に、今少し中期的な事業の計画を策定しておるところでございます。そういった計画を立てていくというのが、29年度のとらえ方でございます。ご質問あります、その30年度というところですけども、そういったご意見を踏まえた上で、さらにそれをブラッシュアップする。強化をしていくという年度がこの30年度でございます。

具体的に申し上げますと、先ほどご質問もいただきました収益力の強化ということと、それから、事業主であったり、担い手を確保していくというのが、大きなテーマということでございます。具体的に申し上げますと、例えばマーケティングの調査をするであったりとか、同じような歴史的施設での活用のうまくいっているところを調査し、その継続した持続した運営につなげていくようなところの研究、それからいろんな商品の開発というのも、これの中で行っていきたいと思っておりますし、また、集客交流施設の例えば選定方法であったり、事業主をどのように選定していくかというのも、この事業の中で実施をしていきたいと思っております。

また、合わせてまち・ひと・しごとの地方創生でございますので、何か就労をマッチングできるようなシステムを、この中でも考えていきたいと考えておりますので、以上のようなコンセプト、考え方もって平成30年度事業を構築しておるところでございます。以上でございます。

○議長（山口 和宏） 産業振興課長 中世古憲司。

○産業振興課長（中世古 憲司） お尋ねの溜池の防災・減災対策事業でございますが、これにつきましては、平成30年度にまだ残りの耐震調査の未調査のところが3箇所。それから、11箇所がハザードマップがまだできあがっていないという状況でございますので、これを計上させていただいております。

昨年度に比べて減額という格好にはなっておりますが、29年度と比較しまして、30年度は減額という形にはなっておりますが、溜池の箇所が耐震調査の箇所が、今年7箇所ございまして、箇所あたりだいたい500万円の金額がかかってきております。来年度は3箇所ですと完了するということでございますので、結果的に減額という格好になっております。

一旦はこのハザードマップ、耐震調査につきましては、平成30年度で終了いたしますけれども、先ほどもご指摘がございましたように、耐震調査の結果がというのが、各池で全容が明らかに来年度でなりますので、これをもちまして耐震の工事を県と調整しながら実施をしていきたいと、このように考えております。

また、この事業の対策の効果ということで、ご質問をいただきましたが、特にハザー

ドマップにつきましては、これまで12箇所の作成をさせていただきまして、都度できあがりましたら関係集落の住民の方々に、すべて地図のほうは全戸配布をさせていただいております。

中身におきましては、ハザードマップの時系列的に、例えば溜池の堤体が決壊した場合、何十分後にはここまで浸水するとかいうのを、目で見るとか格好で地図を作成させていただいております。こういったことによって、防災意識のほうが高まるということで、一定の効果はあったかなと思っております。

それから、こういったものについての周知でございますが、先ほども全戸配布をさせていただいたということもございますけども、作成前にあたりまして、集落のところへ入らせていただきまして、担当のほうから集落で一番良い避難所はどこかとか、そういった協議をしながらハザードマップにつきましては、数年前から作成をするということで、国のほうから指示が出ておりますので、それに沿って実施をさせていただいております。

それから、24年度から25年度にかけての耐震調査の結果が、そこに出ていないというご指摘がございまして、これも先日の一般質問の時に答えをさせていただきましたが、なかなかその結果につきましては、専門的な内容でわかりにくいということがございました。

従いまして、今、こちらのほうで発注をさせていただいております、土地改良事業団体連合会におきまして、一般住民の方にもわかりやすいようなものを、今、作成中でございます。今、第1回目の校正をさせていただいたところでございますので、1回できあがりましたら、関係の集落の方に見ていただいて、良いものをこれからつくりあげていきたいと考えております。以上です。

○議長（山口 和宏） 建設課長 東博明君。

○建設課長（東 博明） 地籍調査の委託業務の増額についてと、現在の玉城町の状況についてのお尋ねでございます。昨年度の予算額に比べて、約倍増ということで、1,355万3,000円を計上してございます。この30年度の予定といたしましては、田丸駅前、元町、萱町、裏町といったところの約10haの調査を予定してございます。

現在の進捗の状況でございますけど、昨年まで107ha、これに10haということになってございますが、用途地域で180のうちの117というのが完了するわけなんですけど、玉城町の場合、分母が大きいございまして、公共水域、池とか川とか除いた面積、分母が4,094haのうちでございますので、率といたしましては、3%にも満たないという状況でございます。県下におきましても、29市町のうち約22位というところでございまして、今後ともこの調査のほうを進めまして、率のほうの拡大、数字のほうを図りたいと思っております。以上でございます。

○議長（山口 和宏） 10番 奥川直人君。

○10番（奥川 直人） まずそれでは、次に総務課の全体的な国の動向だったんですけども、国の動向につきましては、そういった地方財政計画とか、そういうものを踏まえて、指針を見た形でということなんですが、景気としては、そういった意味では、国としては上向きなのか、下向きなのか。玉城町としても、それに準じた形で、今現在30年度を設定しているのか。ここをもう少し明確に教えていただきたい。

あとですね、玄甲舎という形で地方創生につきましては、玄甲舎という話がありました。これにつきましては、この文章を読むと、地域運営組織の収益力強化とあるので、具体的に何をやるのかなということで質問させてもらったんです。それを検討するというんやったら検討するでいいんですよ。でも、こう書いてあったら、我々はどんなことをして、そういう施策を打つんだらうということだったので、今はそういう強化をしていくための方法を、この30年度で検討するという意味で捉えたんで、それでいいのかどうかということですよ。

次に、これちょっとまた後で答えていただきたいんですよ。

あと農林水産費の溜池の件ですけども、内容はわかりました。ハザードマップをつくって全戸へ配布していくということで、周知をしていきたいということでもあります。ではあと少し残っているなら、最初から残っているという話もお聞きしたのですが、全戸配布していくというのと、それともう1点は、今、防災というのは、自主防災で昨日も話をしましたけれども、玉城町として非常に重要なテーマとしていまして、そういった意味ではこの活動も自治区で、また説明されるということであれば、自主防災の組織へ関連づけていただけるような動きを、是非説明会である場合は、取っていただきたいと思うので、それは今、総務課が担当しておる防災と、そして、産業振興課が取り組んでおる、この事業とマッチングをさせて、地域の皆さんに自主防災への啓蒙、推進への促進を、組織化、促進への活動へとつなげていただくような取り組みをお願いしたいと思っております。

地籍調査につきましては、一応22位という形で、29から22になって、まだまだやる必要があると。まだまだ面積がたくさんあると。これは私もこの間から始まったばかりなので思っていますし、玉城町は人口が増える町だと言われていまして。将来的には宅地になったりとか、いろんなことが考えられる町ですので、この地籍調査というのは、ますます重要になってくると思いますので、余分ななんて言いますか、土地の争いがなくなる、事前の調査というのが地籍調査と認識しておりますので、これはそのまま継続していただきたいという思いで、意見を述べました。

あと、防災計画でありますけれども、やっぱりハード面が、ハード面をどうするかということが、地域住民の皆さんに一番安心していただける。昨日、前回申し上げましたけれども、そういったプロセスがどうなって、こういう未曾有の災害が発生したんだということであれば、やっぱりハード面の対策というのは、当然とっていくべきだと、私は

思っておりますし、それが建設の中に費用が入っているのか、これは今の現状がわかりませんが、そういった意味では具体的な安心していただけるような施策を、ハード的な施策をとらないと、また起こるといふことになりますので、そういったことを、まだ時間がありますので、30年度でもって、そういった調査もして、ハード的な施策も打つんだと。だから補正になる可能性があるといふことであれば、それでいいんですけども、その見解も合わせてお聞きしたいと思います。

○議長（山口 和宏） 総務課長 中村元紀君。

○総務課長（中村 元紀） まず収入の関係でございます。予算書等を見ていただくとおわかりかと思うんですが、16ページ辺りを見ていただきますと、自動車の重量税ということが出ておるかと思っております。これにつきましては、国のほうとして景気が動向として上向きということの中で、自動車販売等が増えておるといふことの中で、増額を見込んでおりますし、同ページの下のところ、株式等の譲渡税、株の価格等も良好ということの中で、この辺りの株式の譲渡の交付金の増額を見込んでおる。

また、自動車取得税交付金につきましても、先ほどと同じで自動車の台数が増えるといふことの中で見込んでございます。

また、町のほうといたしまして、法人税等の伸びといふのをみておるかと思っております。この辺りを見ますので、逆に18ページの地方交付税の関係でございます。町の収入が増えたことによりまして、前年対比としては減という格好になってきておるといふところでございますので、ご理解いただきたいと思っております。

それから、自主防災の関係の中で、地区へ出向く中で、溜池等のハザードマップについてどうなのかということでございますけれども、当然、自主防災組織で地域のほうへご説明させていただく時につきましては、この地区にどんな危険があるのかという部分を、再認識していただく。これが一番重要じゃないかなと。

じゃあそういう災害に、そういう起こりうる想定の中で、どういうことができるのかといふのを、まず地域のほうで考えていただく。これが一番大事ななと思っておりますので、当然できましたハザードマップにつきましては、利用させていただく格好になるかと思っております。

それから、あと防災上の関係で、ハード整備ということでおっしゃっていただきました。これにつきましては、所管のうちでは、直接のほうの所管でないわけでございますけれども、防災対策の所管の部分でのハード整備といたしまして、河川の監視カメラ等で、皆さんに見ていただけるような状況にしていきたいといふことで、整備をさせていただくものでございます。

また、安全・安心の部分ということになりますと、今回の原因究明をしていただいた中で、当然その河川の改修をしていく必要があるといふことは、もう皆さんご理解いただけたと思っておりますし、河川の改修いたすにつきましても、当然どの部分をどうしていく

のがいいかという詳細な部分、闇雲にやりますと、事業費が嵩んでいく中で、より有効な方法がどの方法がいいのかということを検討させていただきたいと思いますので、この部分=ツキマテハ、30年度補正の中で、おそらく対応されるのではないかと考えてございます。

○議長（山口 和宏） 総合戦略課主幹 中川泰成君。

○総合戦略課主幹（中川 泰成） ご質問いただきました玄甲舎の事業について、検討が中心となるのかというお尋ねかと思えます。これまで少し繰り返しになりますけれども、今年度、住民の方々からたくさんご意見を頂戴して、あらかたまとまってきたという状況にございます。

また、あの玄甲舎という施設一帯周辺は、とにかく活用をしていくという観点で、これまで進めてきたところでございます。そういったベースの中で、そのご意見いただいたものについて、それをどのように具体化していくかというのが、その30年度に課せられた年度だという認識をしてございます。

例えばで申し上げますと、いろんなワークショップの意見の中から、例えばあそこの中で実施をする事業、例えば観月会をしたらどうかであったりとか、そこで少し小イベントをしたらどうかという具体的な案があるわけですが、この意見について、もう少し具体的に、要は持続可能な施設になっていくというのが、最終的な目標でもございますので、一定の収支がある程度あってこない、なかなか進まないというのは、私どもの認識のところでございますので、そこをよりどうやって、何を足していくのか、例えば新たなもう少し広域で考えていくのかだとかいう話を、30年度で進めていきたい。

例えばさらに言うと、まち歩きなんかしたらどうやというご意見もたくさんいただいておりますが、これ町の単独で少しの会費をもらってやる方法もあれば、少し旅行会社に振り込んでいくという方法もあるので、具体的にそこは商品開発も含めて、検討なり、もう実施に近いところでやっていきたいと考えております。これが30年度の事業ということでございまして、検討が中心になりますが、なるべく実行というところに近いところまでもっていききたいと、このように考えております。以上でございます。

○議長（山口 和宏） 10番 奥川直人君。

○10番（奥川 直人） そうしましたら、まず全体の財政の関係の全体なんですども、景気については国としても、自動車の販売も増えているということで良好で、玉城町としても企業の法人税を含めて良好な形だと、方向だという形で理解をします。

次に、地方創生につきましては、これは過去から議会としても、これ本当にいいんだろうかという課題をずっと検討してきているわけです。一番大事なのは、どう使うんだと。どう活用するんだと。ただこの税金を使ってですね、どうするんだということが、一番の問題で、今も右か左か、それがわからない状況なんで、そこについては、都度いろんな委員会で決まった内容とかいうものについては、きちっと報告して、ともにいい

ものができればいいかなと、こんなふうに思っていますので、また報告をしていただきたいと思います。

それで、あと防災の溜池につきましては、そういったものを十分利用していただいて、やってきたことを利用していただいて、住民の方々と防災の組織づくりなり、防災意識が高まるような活動につなげていただければと思います。

あとですね、防災計画ですが、カメラという話がありました。それはあくまでも早く見つける、早く対処する。けれども洪水は防げやんというのが現状なんですね。そういった意味ではやはりハード的なものにつきましては、課長から話がありましたように、河川の浚渫とかいうのも、昨日申し上げましたように、伊勢市もあれば多気町もあればということなんで、そういった連携を含めて、まず第一に流れが、通水力といいますか、川の流れがよくなるようにしていただければと思います。以上です。

○議長（山口 和宏） 町長 辻村修一君。

○町長（辻村 修一） 奥川議員から町の収入の部分でのご質問をいただいておりますけれども、ご承知のように年明けから、世界国内の景気もいいというお話はよく聞きますけれども、それがストレートに玉城町のそれぞれの企業さんの景気、経営状況に反映するとは限っておりませんし、地方財政のシステムは、総務課長から申し上げましたように、税収が増えた部分は、交付税で減額になるということ。そういうシステムでございますから、楽観視するわけにはいかないと思っています。

したがって、やはり十分な町としての動向を十分見極めながら、健全財政に努めていくと。これが一番重要なことでないかなと思っています。

○議長（山口 和宏） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（山口 和宏） 質疑なしと認めます。

これをもって一括議題となりました議案第25号ないし、議案第35号についての質疑を終わります。

○議長（山口 和宏） 暫時休憩いたします。

（9時45分 休憩）

（9時47分 再開）

○議長（山口 和宏） 再開します。

本日質疑を終了いたしました、議案第1号 玉城町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定についてないし、議案第35号 平成30年度玉城町下水道事業会計予算の各議案につきましては、会議規則第39条第1項の規定により、お手元に配布いたしました議案付託表のとおり、総務産業常任委員会・教育民生常任委員会・予算決算常任委員会に審査付託をしたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(山口 和宏) 異議なしと認めます。

したがって、議案第1号 玉城町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定についてないし、議案第35号 平成30年度玉城町下水道事業会計予算の各議案につきましては、議案付託表のとおり、総務産業常任委員会及び教育民生常任委員会並びに予算決算常任委員会に審査付託することに決定しました。

お諮りします。

議案精査のため 本日午後から14日まで、休会としたいと思います。

ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(山口 和宏) 異議なしと認めます。

したがって、本日午後から14日まで、休会とすることに決定しました。

来る3月15日は、午前9時から本会議を開き、委員長報告、追加議案の上程、討論・採決を行いますから、定刻までにご参集願います。

本日は、これで散会します。

ご苦勞様でした。

(9時48分 散会)